

質疑応答（1/8）

ご質問

ご回答

移行スケジュール

- 次期システムは令和9年4月1日から利用可能か。
- システム移行期間の令和9年3月はLAPSSにエネルギー使用量を入力できず、次期システム稼働開始後に遡って令和9年2月以降の実績値の入力をする必要があるか。
- 希望者が次期システムを自由に操作できるトライアル期間、あるいは現行システムと次期システムの両方を操作可能な期間を設けることは可能か。
- 年度末・年度始めはLAPSSへの入力作業が集中するので、システム移行を他の時期に変更することは可能か。
- システム移行に伴うデータの移行を複数回に分けることは可能か。
- システム移行のスケジュール等について、事務局から施設管理部局に周知する必要はあるか。あるいは既に施設管理部局にも周知済か。
- システム移行について事務局から施設管理部局に周知する時期としてはいつ頃が望ましいか。
- 今回のシステム移行後も再度移行の可能性があるか。現行の計画（事務事業編）の期間は2030年度までであるため、その前後でシステム移行があると計画の見直しに支障を来すことが見込まれる。

- はい。令和9年4月1日から次期システムが稼働開始予定です。
- 恐れ入りますが、システム停止期間中はLAPSSをご利用いただけないため、ご認識のとおり次期システム稼働開始後にご入力ください。
- 恐れ入りますが、その予定はございません。
- 恐れ入りますが、現行LAPSSは令和9年2月で停止、次期システムは令和9年4月から稼働開始というシステム移行のスケジュールは変更できかねます。次期システム稼働開始に向けて、開発に必要な期間も踏まえ、現行システムをご利用いただけない期間を最小限にするため、令和9年3月の移行を予定いたしました。大変恐れ入りますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。
- 恐れ入りますが、データ移行を複数回に分ける予定はございません。
- LAPSS掲示板にはシステム移行説明会（移行概要説明編）の資料を掲載済ですが、施設管理部局への周知は事務局からご実施ください。LAPSSが利用不可となるシステム移行期間について等、周知は必要となる想定です。
- 各団体様のご事情に合わせてご周知ください。
- 2030年度までに今回以外のシステム移行は実施されない予定です。

質疑応答（2/8）

ご質問

データ移行

- ・ 事務事業編に入力されたデータの移行について、利用団体側での操作は不要か。
- ・ 区域施策編機能に登録したデータのエクスポートはいつまでに実施する必要があるか。
- ・ 区域施策編機能を現在利用していない場合はデータエクスポート等の作業は不要か。
- ・ システム基盤がガバメントクラウドに移行することによる利用団体への影響はあるか。
- ・ 次期システムの名称は「LAPSS」から変更されるか。

移行後の現行システム

- ・ 現行システムでのLAPSSの閲覧は、令和9年2月末を過ぎるとできなくなるか。
- ・ 現行システムで引き続き令和8年度分の実績値の登録や排出量の算定等を行った場合、システム移行時にデータが消去されるか。
- ・ 過去に回答した推進状況調査（旧施行状況調査）の内容は次期システムに引き継がれるか。
- ・ 現行システム画面上で本番環境とトライアル環境の違いは確認できるか。
- ・ トライアル環境にのみ入力したデータは次期システムに移行されるか。

ご回答

- ・ 不要です。
- ・ 令和9年2月末までにご実施ください。
- ・ 不要です。
- ・ いいえ、システム基盤の移行が利用団体様に及ぼす影響はございません。
- ・ いいえ、変更されない予定です。
- ・ はい。現行システムは令和9年2月末で停止予定のため、それを過ぎると現行システムでのLAPSSのご閲覧はできなくなりますが、事務事業編のデータは全て次期システムに移行されます。
- ・ いいえ。現行システムが停止する令和9年2月末までにご入力いただいたデータは自動的に次期システムに移行されます。なお、次期システムに移行してからご入力いただいても差し支えございません。
- ・ はい、引き継がれます。
- ・ トライアル環境の場合、ログイン画面のお知らせに「【ご注意】こちらはトライアル環境になります。本番環境ではございませんのでご注意ください。」と記載がございますため、ご確認ください。また、URLに「test」と含まれていればトライアル環境です。ご不明な場合はお問合せ窓口にご連絡ください。
- ・ いいえ、トライアル環境にご入力いただいたデータは次期システムに移行されません。必要に応じ令和9年2月末までにデータのエクスポートをご実施ください。

質疑応答（3/8）

ご質問

ご回答

次期システムのアカウント

- ・ システム移行後、新たに利用登録を行う必要があるか。
- ・ 現在トライアル環境にのみ登録している場合は、令和9年4月以降に次期システムの利用登録を行う必要があるか。
- ・ 次期システムに事務局権限・部局とりまとめ権限の各アカウントは引き継がれるか。
- ・ 次期システム利用開始時に、利用団体側でパスワード再発行等の軽微な作業が発生する可能性があるか。
- ・ 次期システムでパスワードの再発行が必要となるのは事務局権限のアカウントのみか。部局とりまとめ権限のアカウントでも再発行が必要か。
- ・ 次期システムではシステム管理者のアカウントからパスワードをリセットできるか。
- ・ 次期システムでも、指定管理施設についてのデータを指定管理者がLAPSSに入力可能か。

次期システムの利用環境

- ・ 次期システムでは、利用団体に要求されるPC環境等の水準が変わるか。
- ・ LAPSSへの接続をインターネットでのみ行っている場合は、接続に関する変更点はURLのみか。

- ・ いいえ、現在既にLAPSSをご利用いただいている場合は利用登録は不要です。
- ・ 令和9年2月までに現行システムの本番環境に利用登録をご実施いただくか、令和9年4月以降に次期システムに利用登録いただく必要がございます。
- ・ はい、ご認識のとおりです。
- ・ はい、ご認識のとおりです。
- ・ 追ってお知らせします。
- ・ 追ってお知らせします。
- ・ はい、可能となる予定です。
- ・ 利用団体様側のPC環境等の要求水準を大きく引き上げる予定はありません。一方で、セキュリティおよび安定動作の観点から、ブラウザは各ベンダーがサポートする最新バージョンでの利用を前提とする想定です。
- ・ はい。接続方式は引き続きインターネット経由・LGWAN経由の二つですので、インターネット接続のみをご利用の場合はログイン後の画面のURLの変更のみとなります。

質疑応答（4/8）

ご質問

ご回答

実績値一括登録

- ・ 現行システムの実績値一括登録ツールの利用において「各団体がマスタや活動実績をLAPSSに登録可能な形式に加工する作業」とはどのような作業を指しているか。
- ・ 実績値一括登録ツールによる過年度の燃料等の使用実績データ取り込みが可能となるのは令和9年4月以降か。
- ・ 次期システムでは、実績値一括登録ツールを利用可能な権限の範囲が変更されるか。
- ・ 次期システムでも、現行システムと同様の実績値一括登録ツールを同様の方法で利用可能か。
- ・ 次期システムにおいて、実績値一括登録ツールに読み込ませるデータの様式は完全に自由か。exe等の使用が必要な場合、セキュリティの関係で開けないため作業に支障が出るのが予想される。
- ・ 次期システムにおいて、実績値一括登録ツールに読み込ませるデータの様式に関するルールはいつ頃確定し、周知されるか。
- ・ 次期システムでは現行システムに比べて実績値一括登録ツールの処理時間は短縮されるか。

- ・ 「実績値一括登録ツール.xlsx」のシート「データ入出力」に記載されている「実績値一括登録の流れ」の手順「1. 月別実績値のダウンロード」「2. データ作成」を指しています。
- ・ はい。ご認識のとおり、次期システムへのデータ取り込みが可能となるのは令和9年4月以降です。
- ・ いいえ。現行システムと同様に、事務局権限及び部局とりまとめ権限で実績値一括登録ツールが利用可能となる予定です。課室権限ではご利用いただけませんが、例えば各課室にツールを配布・実績値をご入力いただいた上で事務局にて回収、システムへご登録いただく等の運用は可能です。
- ・ はい、可能となる予定です。
- ・ データ様式を完全に自由にすることは難しく、一定のルールは設ける想定です。詳細については今後検討を継続し、令和9年1月に開催予定の次期システム操作説明会でご案内します。なお、exeファイルは使用しない予定です。
- ・ 現在設計・開発中ですので、恐れ入りますが明確にお答えできません。令和9年1月に開催予定の次期システム操作説明会以降に詳細をご案内します。
- ・ 処理時間はデータ量にもよるため明確に回答できかねますが、定められた性能要件を満たし、可能な限り使い易いシステムとなるよう設計・開発を進めております。

質疑応答（5/8）

ご質問

ご回答

次期システムにおける 変更点・改善点

- 次期システムで新たに追加される機能はあるか。
- 次期システムでは操作性が大幅に変更されるか。
- これまでに寄せられたLAPSSの機能改善要望は、次期システムに反映されるか。また次期システムでは、現行システムと比べ何がどの程度変更されるか。
- 次期システムのマニュアルでは現行システムと次期システムの比較・現行システムからの変更点について記載されるか。

活動項目の設定

- 次期システムでは施設ごとの活動項目（重油、軽油等）を一括で設定可能となるか。
- 次期システムでは、施設分類別入力項目の設定において、設定区分として未使用・使用が一括で選択可能となるか。
- 現行システムでは、施設分類別入力項目の設定において、電気使用量、都市ガス使用量について事業者ごとのメニューが羅列されているが、次期システムではプルダウン形式に変更されるか。

- 機能の追加は現在検討しておらず、現在の機能の改善を中心に検討を進めております。なお、移行翌年以降に向けてBIツールの提供等機能追加を検討中です。
- 次期システムでは基本的な機能や操作体系は現行システムを踏襲する方針で、大幅な操作性の変更は想定しておりません。詳細は令和9年1月に開催予定の次期システム操作説明会でご案内予定です。
- スケジュールやリソースとの兼ね合いもあり全てのご要望を反映できるとは申し上げられません。詳細は令和9年1月に開催予定の次期システム説明会を目途にご案内予定です。
- ご意見ありがとうございます。検討いたします。
- 現行システムと同様に施設中分類ごとに設定の上、施設単位で活動項目を設定していただく想定です。
- 次期システムへの移行時の追加は予定されていませんが、今後の機能改修検討の参考といたします。
- 複数の利用団体様から同様の意見を頂戴しており、機能改修検討の参考といたします。

質疑応答（6/8）

ご質問

ご回答

実績値登録

- 次期システムでは実績値やコメント等を入力する画面の仕様・機能は変更・改善されるか。
- 次期システムでは、各月の使用量だけでなく通年の使用量も画面上で確認可能となるか。
- 次期システムでは、一括周知メールの送信について、一部の部単位で周知可能となるか。
- 次期システムでは、都市ガスの入力箇所に「内数を合計」の機能が追加されるか。

推進状況調査

- 次期システムで推進状況調査（旧施行状況調査）への回答は可能か。

他制度報告

- 次期システムでもLAPSSからEEGS（省エネ法・温対法・フロン法電子報告システム）への連携は利用可能か。
- 次期システムでは、省エネ法特定-第2表-1-1を部局別、施設別にLAPSS上でも出力可能となるか。

- 一定の改善を検討、実施予定ですが、これまで通りの業務遂行への影響を最小限にする方針です。
- 反映可否は明確にお答えできかねますが、改善要望として検討いたします。
- 現時点ではその予定はございませんが、改善要望として承ります。
- 都市ガスについては、次期システムにおいても内数項目を自動計算できる総量項目を設定する予定はございません。
- はい。推進状況調査（旧施行状況調査）については、令和9年度調査から次期システムを用いて実施する予定です（令和8年度調査は現行システムで実施いたします）。詳細については追ってお知らせします。
- はい、現行LAPSSと同様に引き続きご利用いただけます。
- ご意見ありがとうございます。機能改修検討の参考といたします。

質疑応答（7/8）

ご質問

ご回答

ユーザビリティテスト

- ・ 現行システムと次期システムの相違点はデザインと実績値一括登録ツールのみと理解したが、ユーザビリティテストの目的は何か。

- ・ ユーザビリティテストを実施するのではなく、全利用団体に次期システムの概要を随時公開し、仕様について意見を集約してはどうか。

- ・ ユーザビリティテストで確認された改善点は次期システムで令和9年4月から実装されるか。

- ・ ユーザビリティテストでは現行システムのデータを移行した環境を操作するのか、それとも仮のデータが入ったテスト環境を操作するのか。

- ・ 意見や所感を述べることは難しいかも知れないが、次期システムに早く触れるため、ユーザビリティテストへ申し込んでも良いか。

- ・ ユーザビリティテストに参加するためには、事務局以外に施設管理部局全てに周知及び参加要請をする必要があるか。

- ・ ユーザビリティテストへの参加団体数はどのくらいとなる予定か。

- ・ ユーザビリティテストの目的は、画面デザイン変更やシステム基盤移行に伴い、実際の利用団体の皆様が問題なく利用可能かどうかを確認することです。なお次期システムの基本機能は現行システムを踏襲したものとする方針です。

- ・ ご意見ありがとうございます。今回のユーザビリティテスト目的は不特定多数の方から広くご意見を収集することではなく、実際の利用者の皆様に操作シナリオに沿ってシステムをご利用いただき、現行業務を支障なく実施できるかを確認することですので、全利用団体様への公開と仕様についての意見集約ではなく、参加団体様ごとの個別実施を予定しています。

- ・ ユーザビリティテストで確認された改善点は内容に応じて検討し、短期的に実装可能なものは令和9年4月の次期システム稼働開始時に反映することを目指しますが、内容によっては次期システム運用開始後の改善課題として扱います。

- ・ 開発中のテスト環境をご利用いただく予定です。テスト環境の詳細やテスト時に利用するデータの取り扱いについては、参加をお願いする団体へ実施前に個別にご案内します。

- ・ はい、お申込みください。

- ・ いいえ、必ずしも施設管理部局の全てのご担当者様にお声がけいただく必要はありません。本テストでは、LAPSSを実際に利用されている方からご意見を伺いたいと考えておりますので、まずはテスト対象となる業務に関係する方を中心にご周知及び参加をご要請ください。なお利用団体様内で参加者の調整が必要な場合は、必要に応じて関係部局の皆様とご相談ください。

- ・ 未確定です。数団体程度を想定しておりますが、最終的にはアンケートのご回答状況や利用状況等を踏まえて調整する予定です。

質疑応答（8/8）

ご質問

ご回答

説明会

- 本説明会（LAPSS移行説明会（移行概要説明編））の録画を後日閲覧可能か。

- はい、後日「脱炭素地域づくり支援サイト」に掲載予定です。

- ユーザビリティテスト実施前、または令和9年1月の次期システム操作説明会の前に次期システムに関する説明会は開催されるか。

- いいえ、恐れ入りますがその予定はございません。ユーザビリティテストを踏まえて次期システムの設計を確定し、令和9年1月に操作説明会を開催する予定です。

- 次期システムの操作説明会等は来年度も開催されるか。

- 現時点では未定ですが、ご要望として承ります。

- システム移行前に過去開催されたものと同様の、現行システムにおけるLAPSS操作説明勉強会等は開催されるか。

- いいえ、恐れ入りますが今年度は操作説明勉強会（初級編・中級編）や新規利用団体様向け説明会は開催いたしません。「脱炭素地域づくり支援サイト」に掲載されている操作説明勉強会の録画をご覧ください。